

鹿児島国体に合わせる、丸岡公園を整備せよ



議員 塩井川 幸生
動画視聴

問 国体開催に向けた施設整備はどうか。

答 国体・各種イベント等に対して施設整備計画に基づき万全を期す事としている。

問 公開競技となる国体のグラウンドゴルフに向けて、丸岡公園駐車場整備はどのような計画か。

また、丸岡公園50周年を記念して、目玉となるロープスライダー等の遊具整備をして家族で楽しめる往年の丸岡復活策は考えていないか。

答 駐車場は今でも足りないため、カートランド跡地を駐車場として整備

する計画であり、平成30年には完成させたい。遊具については、現在市としては考えていない。

中山間地域活性化について

問 市全域の生活環境は平等でなくてはならないと思う。超高速プロードバンド環境の整備、FMきりしま難聴地域の解消など、年次計画で進めるべきではないか。

答 超高速プロードバンドは国分・隼人地区の平野部と鹿児島空港周辺が整備されており、他の地域を整備すると多額の投資が必要である。今後、超高速プロードバンド整備、FMきりしま難聴解消については引き続き調査・検討していきたい。

その他の質問

・市道・農道について
・庁舎内機構改革について

光通信の環境整備促進を明確に示せ



議員 木野田 誠
動画視聴

問 本市では、主要観光施設へのWi-Fi整備が進められているが、光回線が整備されなくては宝の持ち腐れのようなものである。光回線の整備促進が地方を活性化するための一丁目一番地だと思う。インターネット環境が整っていれば自宅で仕事ができる。企業やホテルの誘致にも繋がる。何よりも観光交流人口の増加や移住定住人口の増加、若者定住に繋がることで中山間地域の活性化が図られると思う。非常に効果的な施策だと思うが、光回線の整備について方向性を明確に示せ。

答 インターネット環境整備は、市民生活の中で

欠かせないものとなり、おり喫緊の課題である。この整備をやらなければ地域社会が成り立たなくなる。強く認識しており準備を着々と進めている。国や県に対し支援を強く要望し必ず答えを出す方向で進めたい。

総合支所から出張所への進捗状況は

問 平成30年4月から本庁方式となり、各総合支所を出張所とする計画であるが、名称をはじめ新しい業務内容、組織、職員の配置などの準備は進んでいるのか。今から、業務内容を市民に周知徹底し理解を得て、4月からスタートできるのか。

答 組織の在り方、職員数や名称、スタート時期等については、まだ決定していないため今後検討していく。可能な限り住民サービスの低下を招くことがない組織づくりに努める。

潜在的待機児童の解消を図れ



議員 宮本 明彦
動画視聴

問 ①中山間地域の公立保育園の定員数を見直し「待機児童数」を表に出すことで、待機児童解消策をスピードアップする。②公立幼稚園を認定こども園化する。③中山間地域の幼児教育・保育事業は民間事業者任せ、公立保育園・幼稚園を閉じて、その保育士等を潜在的待機児童の多い中心市街地に振り向けられたいか。

答 大幅な定数の見直しはできないが、念頭には置いて判断したい。公立幼稚園の認定こども園化や民営化は、「霧島市公立幼稚園民営化等検討委員会」の中で、具体的な

方針を決定していく。閉園化については、保育料の差、「公が果たすべき役割」もあり、民営化を進めるなかで、その後のことは事業者、地元等と協議していきたい。

いきいきチケットをスポーツ施設でも利用できるように

問 いきいきチケットの利用範囲を拡大して、健康増進のために、スポーツ施設等での利用も可能とできないか。

答 事業の実施効果に加えて、現在実施している他の事業との整合性、運動施設を利用することによる公共施設の有効活用、新たな財源の確保など、様々な観点から検討を続けたい。



いきいきチケット

国民健康保険について



議員 池田 綱雄
動画視聴

問 国民健康保険制度は今後どのように変わっていくのか。また、霧島市の保険料については、どのように変わるのか。

答 今回の改革は、都道府県が国保に係る財政運営の責任主体となり、市町村と共同運営を行うことと制度の安定を図ろうとするものである。また、標準保険料率については、今後の情報収集に努め、いち早く被保険者の皆様に情報提供を行いたい。

国分中心市街地の排水対策を進めよ

問 国分中心市街地では、大雨のたびに店先に



国分生協病院近くの水路

土のうを積んでおり、排水対策は合併前からの懸案事項であった。その解決策は、県道を横断する暗渠の拡張か新設だと言われてきたが、今後どのように対応するのか。

答 国分中心市街地の排水対策は喫緊の課題であり、緊急対策として進めている。国分生協病院前の県道横断暗渠は、事業用地の取得や関係機関との調整がついたので、本年度で工事を完了したい。完成後は、国分中心市街地の浸水が軽減されると考えている。

農業専門職・プロジエクトの設置は考えられないか



議員 中馬 幹雄
動画視聴

問 近年の農業は、農業者の減少、高齢化、後継者不足等厳しい環境にあるが農業技術者の市職員の採用はない。職員の中には、農業・水産を専門に学んだ職員も何人かいるはずである。これらの職員を集約して今後の農業振興を図るため、専門的に検討する部署を設置する考えはないか。

答 職員の中には、農学部卒17名、水産学部卒9名がいる。うち農林水産部には農学部卒2名、水産学部卒1名を配置している。引き続き農業環境の変化等に柔軟に対応できる優れた職員の育成に努めたい。

農林水産業の6次産業化への取組を問う

問 ふるさと創生総合戦略に「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造を掲げ、6次産業化を推進するとある。現在7事業所が認定を受けており、農業生産法人格の企業が、努力して製造から販売まで行っている状況である。正規の6次産業化の主体は農林漁業者であり、行政の役割は、後押しすることである。市として、今後の6次産業化への取り組みを問う。

答 県が設置しているサポートセンター及びプランナー等と連携しながら、新商品の開発や販路開拓等に積極的に普及啓発を図っていく。さらに相談窓口の充実にも努める。

害獣捕獲報償費不正受給問題の徹底説明を



議員 中村 満雄
動画視聴

問 報償金の返納状況、不正否認者の取扱いを問う。

答 9月22日を納付期限として報償費の返納を求めている。8月31日現在で、20名分、128万円の返納を受けた。否認者には複数回の聞き取りを行った。現時点でも否認中である。市からの聞き取りだけでは結論を得られないと判断される事から、近日中に本人に最終の聞き取りを行い、今月中を目途に告発をした

その他の質問

・フット物洗口事業について
・木質発電について